

人生とんぼ返り (1955)

メディア 映画

ジャンル ドラマ アクション 時代劇

製作国 日本

色彩 B&W

時間 117分

初公開日 1955/11/01

【解説】

長谷川幸延の戯曲『殺陣師段平』をマキノ雅弘が脚色し監督。新国劇で頭取と殺陣師を務めた市川段平の半生を描く。同戯曲は1950年に月形龍之介主演、1962年には市川雷蔵主演で、それぞれ映画化されている。

大阪で殺陣師を生業とする市川段平は、妻のお春と雇い娘のおきくと貧しく暮らしていた。新国劇で売り出し中の沢田正二郎は、舞台に写実的な殺陣を導入したいと言う。歌舞伎調の殺陣しか知らない段平は新しい型の創造に苦しむが、ある日、正二郎がチンピラを投げ飛ばす姿を見て、リアルな殺陣を生み出すことに成功する。五年後、正二郎は「国定忠治」を公演することになるのだが、段平は中風で重態となり、殺陣をつけることができなくなってしまう。

【クレジット】

監督 マキノ雅弘

製作 高木雅行

原作 長谷川幸延

脚本 マキノ雅弘

撮影 高村倉太郎

美術 小池一美

音楽 大久保徳二郎

出演 森繁久弥

山田五十鈴

左幸子

沢村国太郎

本郷秀雄

小林重四郎

森健二

広岡三栄子